

編集後記

2016年4月より、日本語ジェンダー学会は年会費制の学会として新たなスタートを切ることとなった。ウェブページも一新し、学会誌については最新の2号分は会員のみが入手可能というシステムに切り替わった。また会員は、学会誌（査読制）への投稿や年次大会、研究例会での発表の機会が得られるが、今後さらに、有用な情報をメーリングリストでいち早く提供するなどの会員特典を拡大していければと考えている。

学会誌16号は、2015年3月に京都大学で開催された年次大会と、10月に上海交通大学で開かれた国際シンポジウムにおける基調講演および発表要旨のほか、査読により採択された計3本の投稿論文と研究ノートを掲載した。採択された研究のうち2本は、京都と上海における口頭発表が元になっている。このように、本学会の会員が年次大会や研究例会での発表を皮切りに、研究成果を論文として結実させるという流れを作り、奨励していきたい。

2001年の設立時から15年間、学会では年次大会や研究例会を通して、あらゆる分野の方たちが「ジェンダー」を共通テーマとした研究や意見を発表してきた。研究機関の関係者のみならず、マスコミやビジネスなど実業界から参加される会員もいるが、それは「ジェンダー」という言葉や概念が世の中に浸透してきたことの表われでもある。これからも、ジェンダーやセクシャリティを中心に「差異」をめぐる問題をどうとらえていくか、会員一人ひとりが自らと自らが身をおく世界に問いかけ、発信し、また相互に意見交換できる場を提供していくことが、学会の、そして学会誌『日本語とジェンダー』の使命だと考える。

(第16号 編集委員長 斎藤理香)

編集委員（*は委員長）

小川早百合、門倉正美、*斎藤理香、因京子、渡部孝子

査読協力者

佐藤勢紀子

日本語とジェンダー 第十六号

2016年6月発行

編集者 日本語ジェンダー学会

学会誌編集委員会

発行者 日本語ジェンダー学会

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2

群馬大学教育学部

渡部孝子

TEL 027-220-7355

E-mail jimukyoku@gender.jp

ISBN 4-9900828

[目次に戻る](#)